

2026年新年メッセージ

去年今年 貫く棒や シノダリティ

大阪高松大司教区大司教 前田万葉枢機卿



1
2026

発行所
大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪高松大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: kyokuh@ostk.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。無料です。
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
教区報 ☎ 06-6946-3223(直通)
☎ 06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・デジ)」
山口さん ☎ 0798-22-1649

☆ 使徒職養成研修会
☆ 大阪刑務所聖年ミサ
☆ 玉造教会合同堅信式
☆ 道頓堀慰霊ミサと仏教読経
☆ 広報委員会へのEメールアドレスは kyokuh@ostk.catholic.jp

☆ コレgium・ムジクムコンサート (3面)
☆ 司牧者からの一冊 (2面)
☆ 聖書週間はサクラファミリアへ (4面)
☆ 聖年公式巡礼 聖年巡礼パウロ会 (5面)
『教区報』原稿、資料等の締切は前々月末です。

皆様、主のご降誕と 新年おめでとうございます

「シノドスや二千二十五クリスマス」、「去年今年貫く棒やシノダリティ」と詠み、クリスマスと新年のご挨拶を申し上げます。2025年聖年を締めくくり、新たな四半世紀を始めるため、「シノダリティ」というキーワードを繋ぎにいたします。『去年今年貫く棒のごときもの』という句がありますが、その貫く棒が「シノダリティ」ということにいたします。

ホップ・ステップ・ジャンプで段階的に

2021年から始まった第16回のシノドスは、2025年最終文書で第1段階(ホップ)行動を始める(一)が終わり、この最終文書を受けて2028年10月までを第2段階(ステップ)勢いをつける(二)とし、2028年10月からは完遂段階(ジャンプ)行動を完成させる(三)といたします。『第1段階ホップ』の最終文書については、後述の高山徹神父による提言を参考にし、『第2段階ステップ』については、酒井俊弘補佐司教の提言を参考にしてください。

「ホップ」としてのいくつかの活動

① 教区宣教司牧評議会は、年2回の会議を「シノドスと霊における会話」研修に取り組んできました。
② 新福音化委員会と信徒使徒職委員会は協賛もかねて取り組んでました。



③ 聖年・万博委員会では、

活動の目に見えるしるしとして、「平和の鐘設置とオリブの木植樹」、「コンサート実施」などに尽力してきました。

ステップとジャンプにつながる新委員会設置案

特に、教区修女連の発展的解消として、「奉獻生活

者委員会」新設などを企画しています。

臨時枢機卿総会招集

新教皇レオ14世にとって、5月8日突然の就任以来、あわただしい聖年でもあった関係上、2026年1月6日聖年閉年を機に、1月7日と8日の臨時枢機卿総会招集をして心機一転新たな年を始めたいのだと

思います。シノドスの教会を歩むため、「枢機卿たちによる霊における会話」の中からの「識別」を目指すのではないかと思います。

高山徹神父 提言

『シノドス最終文書』は、シノドスの歩みを故教皇フランシスコと共に霊における会話を通して識別し、第

十六回シノドス総会第二期において承認されたものです。そして、教皇文書としての権威を付与され、今後この文書を各現場で受け取る中で調整することを勧められています。内容は五部構成で、『回心』がキーワードになります。これから『全教会は、聖霊に照らされつつ、交わりを生き、参加を実現し、イエス・キリストから託された宣教を推進するために踏み出すべき行程を識別する』のです。

実践的な面では、『さまざまな場所でも他宗教の信者や、異なる信条をもつ人びととともに歩み、福音の喜びを惜しみなく分かち合い、それぞれのたまものを感じて受け取る』ことが勧められています。そして、今後の養成は、『異なる召命を生きたる者の間でのたまもの交換として、果たすべき奉仕(宣教)の視点から行われること』を勧めます。

『こうして教会のシノダリティは社会的預言となり、政治や経済にも新たな道を示唆し、世界とたまもの交換を続けつつ、兄弟愛と平和を信じるすべての人と協力していくのです』。

酒井俊弘補佐司教 提言

シノドスのモットーである「交わり・参加・宣教」を推進するためには、「聴く・祈る(聖霊に照らされる)・識別する」ことがポ

イントです。言い換えれば、「よりシノド的な教会になる」ために、「聴く・祈る・識別する」教会となるのが目標です。日本の教会はこれまでの歩みによってすでにかなりシノド的な教会であると言えますが、2026年は「よりシノド的な教会」になる歩みを努めましょう。

たとえば、小教区評議会の中であれば、メンバー全員の意見を聴く。小教区としては、評議会のメンバー以外の人たちの言葉を聴く。また、日本人だけでなく、外国籍や外国ルーツの人の思いに耳を傾ける。そのような機会を作ってください。規模の大きな教会であれば、「一度も聴いてもらったことがない」人たちが必ずいます。その人たちの声を聴いてください。逆に小規模の教会であれば、顔見知りの自分の教会の人たちだけでなく、同じブロックや地区の教会の人の声を聴く機会を作ること、よりシノド的な教会になります。

さらには、教会の中にとどまらず、隣近所や地域、自治会や地域の施設などの人たちの声を聴くことも大切です。教会の外からどのように見られているのかを

知ること、教会をより「交わり・参加・宣教」にすることができま

以上のようなことを、小教区や修道院、共同体や家庭で取り組んでください。その一環として、2026年の四旬節中に小教区で行われる黙想会を「よりシノド的な教会となるため

に」というテーマで行うことを勧めます。講師をお願いしたり、自分たちで『最終文書』や教皇フランシスコの連続講話をまとめた『識別』(ペトロ文庫)を読んだりすることができま

教皇フランシスコ連続講話集
識別 ― 教皇講話集
QRコード読み取り

世界子ども助け合いの日
2026年1月25日
ありのままの自分を知ろう
Children helping children

受刑者とともに捧げる 聖年のミサ



キリストの愛を洗足で
—大阪刑務所にて

聖年に当たり、受刑者のためにミサをささげようと、日本カトリック教誨師連盟会長 荻喜代治（広島教区）が企画し、大阪刑務所（大阪府堺市）の協力を得て、前田万葉枢機卿を招いて「受刑者とともに捧げる聖年のミサ」がささげられた。

11月14日、大阪刑務所内の会議室には、机を合わせて祭壇が作られ、その前に参加を希望した14人の受刑者が座った。祭壇には、主司式の前田万葉枢機卿と共同司式をする9人の教誨師をしている司祭が囲み、大阪刑務所の職員、大阪刑務所教誨師会の役員、シスター（教誨師）が、一緒に祈りをささげた。

説教に立った前田万葉枢機卿は、弟子たちの足を洗うキリストの姿、兄弟愛について話し、キリストがいともともにいてくださると教えられた。それに続き、故フランシスコ教皇が聖木曜日に刑務所で受刑者の足を洗った遺徳を偲び、洗足式が執り行われた。

受刑者が一人ずつ呼ばれた。前田万葉枢機卿は、丁寧に心を込めてその足を洗った。受刑者は神妙な面持ちで洗足を受け、手を合わせたり十字架のしるしをしたりしながら、感謝の意を表していた。

当日の暖かい日射しのように、ミサも心温まるひとときになった。

（文教誨師川邨裕明神父）



枢機卿からの聖霊のしるし



大聖堂 外観

◆おすすめのお店（場所）
玉造教会から東へ5分ほどでQsモールがあり、お食事やお茶が楽しめます。そこから少し足をのばせば大阪城。時期によっては散策しながら梅や桃、桜のお花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

使徒職養成委員会

2025 シノドス研修会開催される



シノドスの精神を分かち合う学びの集い

開会に先立ち、前田万葉枢機卿は「日本におけるシノドス牽引の総帥である菊地枢機卿にご指導いただき小教区の隅々にまでシノドスの輪が広がることを期待する」と挨拶された。菊地枢機卿はフランシスコ教皇の言葉を引用し、シノドス性は現代における神が望まれる教会の道であり、聖霊の声に共に耳を傾け識別する動きだと述べ、教皇が「枢機卿たちの意見ではなく、聖霊の声を聴きたい」と語り、司祭、信徒を含む全員の意見に耳を傾けたことを強調した。

2028年の教会総会への道程を定め、シノドス最終文書に著者として名を連ねられた教皇にとって最終文書は遺書であり、全員が一度は読むこと、「霊における会話」を繰り返し実践することの重要性を述べられた。講演後は高山徹神父の指導で「霊における会話」を実践し、沈黙の中で聖霊の声を聴く工夫は示唆に満ちたものだった。最後に両枢機卿から祝福を受け研修会は終了した。

今回は使徒職養成委員会と新福音化委員会共催で、YouTube中継やズーム参加など新たな試みも行われた。

（文 使徒職養成委員会）

シノドス関連学習会

11月8日午後、サクラファミリアに菊地枢機卿を迎え大阪高松教区シノドス研修会が開催され、信徒・司祭・修道者約100人が参加した。

玉造教会・生野教会 合同堅信式

平和に生きる力を受けて

11月16日、大阪高松聖マリア大聖堂にて玉造ブロック主催の堅信式が行われ、玉造・生野両教会の9人が堅信の恵みにあずかった。前田万葉枢機卿の司式のもと、約300人の共同体が受堅者を支え、共に喜びを分かち合った。

当日の説教で大司教は、

聖書週間のテーマ「あなたがたに平和があるように」

そして「貧しい人のための世界祈願日」に触れ、「主よ、あなたはわたしの希望」という言葉の深さを示された。ルカ福音21章にある「忍耐によって、あなたがたは命を勝ち取りなさい」という招きは、これから信仰の歩みを始める受堅者の背中を力強く押すメッセージとなった。

ゆるしと和解が難しい時代だからこそ、キリストのように「仕える者」として生きる。その姿こそが平和をもたらし証しである」と語られた「平和あれ 仕合せになれ 受堅者よ」という句が、会場に深く響いた。

受堅者からは「今まで指導していただき感謝しています」、「うれしいです」

という句が、会場に深く響いた。

玉造教会は、1894年に聖アグネス聖堂の建立とともに誕生しました。戦いで焼失後、仮聖堂を経て、1963年に現在の聖マリア大聖堂として再建されました。室内には堂本印象の壁画や羽淵紅州作のステンドグラス、ルンガルチエ氏の木彫像が配され、広場には高山右近と細川ガラシアの像が立つ、歴史と芸術が息づく教会です。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

玉造教会は、1894年に聖アグネス聖堂の建立とともに誕生しました。戦いで焼失後、仮聖堂を経て、1963年に現在の聖マリア大聖堂として再建されました。室内には堂本印象の壁画や羽淵紅州作のステンドグラス、ルンガルチエ氏の木彫像が配され、広場には高山右近と細川ガラシアの像が立つ、歴史と芸術が息づく教会です。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

◆おすすめのお店（場所）

玉造教会から東へ5分ほどで

Qsモールがあり、お食事やお茶

が楽しめます。そこから少し足

をのばせば大阪城。時期によっ

ては散策しながら梅や桃、桜の

お花見もおすすめです。

第27回日韓司教交流会 in 広島

2025年 戦後80年の傷跡と希望
―若い世代に平和をつなぐために―

11月18日から20日にかけて、広島教区において第27回日韓司教交流会が開催された。韓国から17名、日本から16名の司教が参加し、テーマに沿って共に学びを深めた。

また、2027年に開催されるワールドユースデー・ソウル大会に向けた進捗状況についても情報を共有した。

祈りと開会、両国司教の自己紹介の後、「日韓カトリック教会の架け橋としての朝鮮学校、在日の人びとの痛みに寄り添うことで見えてくること」が講師の中井淳神父（イエズス会）より話された。アジアの平和のための日韓の教会の役割についても意見交換がなされた。

2日目は李昇勲^{イソンフン}さんを講師に招き「外国人の目から見た原爆資料館」と題しての講話。その後、観音町教会でミサがおこなわれた。主司式と説教をしたイ・ムンヒ大司教は、「異なる歴史と文化、過去の痛みの傷の中にあっても、私たちはとどまらず、一緒に航海を続けなければならない。私たちは安全な港に停泊している間に体験する『平和』ではなく、将来、海に向かって進んでいくための勇気を与えてくれる『平和』が必要である。これから先も絶え間ない祈りと交流、実践と分かち合いを通し、少しずつ、『平和の架け橋』を確実に作らなければならない。また、2027年にソウルで開催されるワールドユースデーでは、キリスト教的価値と平和の精神を学び、韓国と日本の青年たちが



韓国人被爆者の慰霊碑に献花する前田万葉枢機卿

島には約14万人もの朝鮮半島出身の人びとが暮らし、その多くが強制労働のために動員された。そして80年前の8月6日に広島に原爆が投下された影響で7万人以上が亡くなり、原爆による犠牲者の約20パーセントは、朝鮮半島出身の方がたであり、植民地支配と戦争が多大な損害と苦痛を与えてしまった。

レオ14世は教皇選出直後『皆さん、どうか手を貸してください。対話をもって、出会いを通して互いに橋を架けましよう。皆が一致して、いつも平和なただ一つの民になりましよう』と挨拶された。日韓の教会が平和への道を歩んで行くための希望の架け橋となることのできるよう、神の導きと豊かな祝福を祈りたい」と結び、交流会は閉会した。

(説教カトリック中央協議会ホームページより引用)

大阪コレギウム・ムジクム
創立 50 周年記念特別演奏会

11月15日、「祈り、そして希望へ」をテーマに大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂で、指揮者の當間修一^{とうま}さん率いるシンフォニア・コレギウム OSAKA の管合奏、大阪ハイソニック・シュッツ室内合唱団、大阪コレギウム・ムジクム合唱団の演奏会が行われた。参列者は約200人。

大阪コレギウム・ムジクムは1975年、當間修一さんによって創設され、世界でも類をみないオーケストラ、合唱団として国内外で高評価を得、各地で活発に活動が続ける中、今年50周年を迎えた。聖年である記念すべきこの年にカテドラルで開催されたことは教会としても喜ばしい。開演前、聖年のテーマソング「希望の巡礼者」が合唱された。

前半はブルックナー作曲によるアヴェ・マリア、ミサ曲第2番ホ短調 Kyrie、Gloria、Credo、Sanctus、Benedictus、Agnus Dei を演奏、合唱。



第一部での演奏と合唱の様子

休憩を挟んで、後半は「天正遣欧少年使節^{てんしやうけんおうしやうねんしせつ}」の4人の若者をイメージし作曲家の千原英喜^{ちばらひでき}さんが作曲された、無伴奏混声合唱のための「ミサ“クアトロ・ラガッツィ”―旅の日の天正遣欧少年使節」がスクリーンにイメージ動画が流される中、少年たちの心は希望に満ち溢れローマへ向けて出航し、日本から来た4人は温かく迎え入れられ、神をほめたたえる様子がキリエとグロリアで歌われた。しかし、日本に帰国した時には、時代が変遷し、キリシタン禁教令が発令されており、千々和ミゲルを除く3人は捕らえられ、処刑される結末を迎える。その悲壮な最期を遂げた少年たちをクレドとサンクトゥスで見事に表現されていた。

最後のアニュス デイは、苦しみから解放され、主のみもとで憩う姿を彷彿させる平和な世界が広がっていた。これは現代社会で生きる私たちへの平和を願うメッセージのように受け取れた。日本の懐かしい風景を想起するような音階とグレゴリオ聖歌の旋律が融合された個性的な音色が聖堂に響き渡り、祈りに包まれるようであった。

(文 広報委員会)

道頓堀合同慰霊祭

11月10日、前田万葉枢機卿司式のもと、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂において、道頓堀開削者の慰霊祭を執り行った。枢機卿司式ミサに続き、神道・仏教のそれぞれの祈りがささげられた。

開催に至った経緯は、次のとおりである。

現在の大阪ミナミ一帯は、江戸時代以前には荒れ地であり、大阪夏の陣以降に町並みの整備が開始された。道頓堀および千日前の地域は、大阪城南側を守る砦として市中最大の墓地が設けられ、さらに豊臣方の残党や棄教しないキリシタンの処刑場としても利用されていた。また、道頓堀の開削にはキリシタンを労役に従事させ、棄教を迫る意図もあったとされている。

これらの史実を知るに及び、従来の仏教・神道による鎮魂ではなお十分に偿えられていないという思いが私の内に生じたこと、加えて私の先祖がキリシタンであったことが判明したことから、道頓堀に沈んだキリシ

タンの方がたへミサをささげたいとの願いが強くなった。このため前田万葉大司教が赴任された際に拝謁し、道頓堀の歴史的背景を伝えたいところ、慰霊ミサを行う運びとなった。

また、この取り組みが新聞に取り上げられたことを契機として、漫画家・美内すずえさんが協賛者となり、道頓堀開削400年に当たる2015年、神道・仏教・キリスト教による合同慰霊祭を挙行することができた。以来、毎年11月に慰霊行事を継続し、本年は10年目に当たるため、大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂において追悼のミサをささげたものである。

(文 弘昌寺住職 鳥居 弘昌)

ひとりで悩まないで
～私たちに聴かせてください～
カトリック大阪高松大司教区
ハラスメント相談窓口

※委員会はハラスメント全般を視野に入れることになりました。そのため、名称変更します。

電話番号:06-6941-9718

相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時～午後4時

あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は必ず守られます。

入居者、スタッフ募集

株式会社 ガラシア WINGS
サービス付き高齢者住宅
ドムス ガラシア

入居者を募集しております。
また、看護師、介護職員を募集しております。皆様ご協力をお願い申し上げます。

☎ 06-4960-8020
✉ info@gratia-wings.jp
担当 奥本、濱口

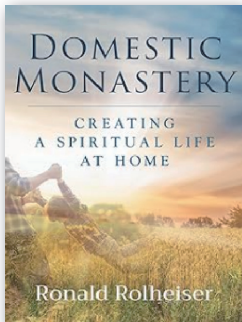
2020年9月、尼崎市園田教会の隣に開業。信徒、修道者、司祭のケアを提供。

【プロフィール】
アマド・アントニオ・カバレロIII世、CM 神父
(聖ビンセンシオの宣教会)



生年月日 1966 年 11 月 2 日 (現在 59 歳)
出身：フィリピン
1995 年 司祭叙階 (聖ビンセンシオの宣教会)

『DOMESTIC MONASTERY』
Creating A Spiritual Life At Home/『家庭修道院・家庭
で霊的生活を創造』(Fr.ロナ
ルド・ロールハイセル)著、
英語、税込1900円相当)



今回は、アマド・アントニオ・
カバレロIII世、CM 神父(聖ビン
センシオの宣教会)が担当。
アマド・アントニオ・
カバレロIII世、CM 神父
からの一冊

教区内の司牧者が記憶に
残る、また心に残った書籍
を司牧者紹介を兼ねて掲載。



英語訳

For priests, guides, mentors and leaders who are journeying with and serving

Couples and families this book of Fr. Ronald Rolheiser is a good read.
It is profound, simple, easy to understand, easy to read, insightful and
inspirational. It invites readers to understand family life in the context of
a monastery. In today's society, where many people tend to neglect family
values, this book holds great importance. The hope is that readers will revisit the
bonds of family and appreciate their value once more.
For families who aspire to deepen their relationship with God, this book is a wonderful gift.

残念ながら日本語に翻訳
されていないことをお許し
ください。
司祭、ガイド、指導者、
リーダーとしてカップルや
家族に寄り添い、奉仕する
方々にとって、ロナルド・
ロールハイセル神父様のこの
本は読む価値があります。
深く、理解しやすく、読み
やすいうえに、深く洞察に
満ち、インスピレーション
を与えてくれるものです。
修道院と言う観点で、読者
を、家族生活を理解へと招
いてくれます。多くの人が
家族の価値観を軽視しがち
な現代において、この本は
非常に重要です。読者が、
家族の絆を見つめ直し、そ
の大切さを再認識すること
を期待します。神との関係
を深めたいと願う家族に
とって、この本は素晴らしい
贈り物です。



カトリック大阪高松大司教区

チャーチナビ 2025 完成!

個人の申し込みを開始いたします

聖年の巡礼は終了しますが、今後のさらなる交わりの
一助として是非、手元に置いてご活用ください。
見本は各施設にお送りしています。そちらをご覧ください。



*本冊子は皆さまからの献金に対す
る返礼として寄贈いたします。

タイトル：カトリック大阪高松大司教区
チャーチナビ 2025

ページ数：105 ページフルカラー (英訳付)
地図は Google マップ QR コード読み取り付
サイズ：B5 サイズ (182 mm× 257 mm)
厚さ：7 mm / 重量：351 g
冊子の内容：大阪高松大司教区各小教区、
聖堂、礼拝所の情報

【申し込み手順】

- ① 申込：郵送、FAX、Google フォーム
- ② 献金の振込
- ③ 振込確認後 教区本部事務局から発送もしくは、
一週間後に 教区本部事務局で受取り。

※教区本部事務局来訪時の現金での受け渡しはお断りいたします。
必ずお振込みでお願いいたします。

- ④ 教区 HP より申込書をダウンロードして
郵送か FAX で申込書を送付。
QR コードからも申し込み可能 ▶▶▶



【献金について】

- ① 1 冊 1,000 円以上
- ② 献金振込先
郵便振替 00910-2-17639
名 義：カトリック大阪高松大司教区

※通信欄には、「チャーチナビ 2025」と記入、申込書と同じ内容で
「希望冊数」「お名前」「住所」を明記(振込手数料は各自負担)
領収書は発行できませんので、振込記録を保存ください。

- ③ 発送・受け渡しは 2026 年 1 月 19 日より開始

聖書週間はサクラ ファミリアへ

日本のカトリック教会は、11 月第 3 主日から第 4 主日までの 8 日間を「聖書
週間」と定めている。今年もサクラ ファミリア(教区カトリックセンター)で
は、聖書により親しむためのこの期間、一週間を通して催しが行われた。



聖書週間初日の講師 澤田豊成神父(聖パウロ修道会)

聖書週間の初日には、聖パウロ
修道会の澤田豊成神父をお招きし
た。「口を開け、わたしが授ける
〔この巻物を〕食べなさい」(エゼ
キエル 2・8)と題してご講話いた
だいた。約 10 年ぶりとなる、サク
ラファミリアでの澤田神父のお
話を、参加者の皆さんは熱心に聞
き入っておられた。
聖書を読むということは、実に
さまざまな要素を含んだ複雑な事

柄で、「わからなくてあたりま
え」と、私たちが安心できるよ
うな一言をくださった。「聖書に
は、イエスから弟子・群衆へ、そ
して福音記者から当時の教会へ
という二つのコミュニケーション
の層があり、さらに全く違う
時代に生きる私たちが、現在の
読者として加わっている。私た
ちが聖書を読むとき、それは単
に文字の字面を読んでいるだけ
ではない。イエスの時代から
二千年も経ち、全く違う地域、
風土、社会制度の中で暮らす私
たちに、生きておられる神が
語っておられるのである。これ
を知った上で読み深めなければ
ならない。」そして、「イエスは
ご自分で聖書を書き記すことは
なさらなかった。イエスの語っ
たことを、特定の状況の中で、
人間の体験や感情を通して、人
間の不確かな言葉で書き記し、
それを神の言葉として伝えるこ
とを望まれた。聖書は「神の言

葉」であると同時に「人間の言
葉」で書かれている。間違いい
ない・間違い得るものが両立す
るこの矛盾の中に身を置き、複
雑さ、隔たり、理解できなさ、
すべてを抱えながら、なお神が
語りかけてくださる言葉に耳を
傾けようとする試みこそが、信
仰の歩みである」と語られた。
また、月曜から金曜までは、イ
エス様への愛あふれるシスター
方に日替わりでお越しいただい
た。ご自身の今までのお働きと
思いについてお話いただいたあ
と、みなで静かにみことばをあ
じわい、わかしあった。
「みことばを生きる」意味をか
みしめながら、信仰の道を歩ん
でいきたい。そんな思いを深め
ることができた今年の聖書週間
であった。
(文 サクラファミリア事務局)

ご協力いただいたシスター方に 心からの感謝を!



- ◆ Sr 北濱純子 (大阪聖ヨゼフ宣教修道会)
- ◆ Sr 金子君子 (サレジオン・シスターズ)
- ◆ Sr エンシソ アルダナ グロリア (マリア布教修道会)
- ◆ Sr 服部悦子 (善きサマリア人修道会)
- ◆ Sr 塩崎時子 (聖ビンセンシオ・ア・パウロの愛徳姉妹会)



10 ottobre 2025

Nel tardo pomeriggio di ieri, giovedì 9 ottobre, il cardinale verbita Tarasio Kikuchi, arcivescovo metropolitano di Tokyo e presidente di Caritas Internationalis, ha preso possesso del nuovo titolo di San Giovanni Leonardi, nel giorno della memoria liturgica del fondatore dei chierici regolari della Madre di Dio, ai quali è affidata la comunità parrocchiale.

Il porporato giapponese è giunto intorno alle 18 nella chiesa romana di via della Ciocagna n. 2, nel quartiere di Torre Maura. Qui è stato accolto dal parroco, il sacerdote italiano padre Antonio Sany Tsao, che gli ha presentato il crocifisso per il bacio e la venerazione. Successivamente, il cardinale Kikuchi ha presieduto la Messa.

Tra i concelebranti il cardinale Thomas Aquino Mauro Mada, arcivescovo di Osaka, gli arcivescovi Peter Michael Nakamura (Nagasaki) e Davide Carbonaro (Piemonte) - Mario Luciani - Marzio Nuvoli, i vescovi Francis Xavier Hiroaki Nakano (Kagoshima) e Andrea Lembo (ausiliare di Tokyo), membri della comunità Leonardina, guidati dal rettore generale padre Luigi Piccolo, e padre Anselmo Ricardo Ribeiro, superiore generale della Società del Verbo Divino, con alcuni confratelli.

Erano presenti sacerdoti e pellegrini giapponesi insieme con l'ambasciatore del Giappone presso la Santa Sede, Akira Chiba, e il dottor Alastair Dutton, segretario generale di Caritas Internationalis.

Ha diretto il rito monsignor Massimiliano Matteo Bolardi, cerimoniere pontificio, che ha letto la bolla di nomina.

10月9日午後遅く、東京大司教であり国際力タス会長でもある菊地功枢機卿は、教区共同体が託されている聖母修道会創立者の典礼上の記念日に、聖ジョヴァンニ・レオナルディという新しい称号を授けられた。

菊地功枢機卿 名義教会着座式と記念ミサ 聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会



2025年聖年

『希望の巡礼者』司教団公式巡礼

司教団の公式巡礼「Bコース、アッシジ・ローマ八日間」は、前田万葉枢機卿を団長とし、大司教秘書のパオロ・スック神父（聖ザベリオ宣教会）を副団長として、10月4日〜11日までの日程で行われた。

参加者は、北海道から鹿児島までの34人が参加した。行程は、10月5日にローマでバジリカの一つ、サンタ・マリア・マッジョーレ教会でフランシスコ教皇の墓を訪問し、アッシジ巡礼に向かった。

アッシジ巡礼の後、7日にローマに戻って二つ目のバジリカ、聖パオロ大聖堂を訪問、8日にサンピエトロ広場で教皇謁見、三つ目のバジリカ、聖ペトロ大聖堂内を観て、夕方、菊地功枢機卿が主催された夕食会に参加した。夕食会はレストランに日本からの三つの巡礼団（菊地枢機卿団長班、中村倫明大司教団長班）が集まった。9日にはかつての教皇座聖堂である四つ目のバジリカ、ラテラノ教会を訪問し、バチカン美術館に向かった。夕方は、巡礼の目的の一つでもある、菊地枢機卿のローマでの名義教会である聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会で、他の二つの巡礼団と合流して着座式に参加した。

菊地枢機卿は、トッレ・マウラ地区のチコーニャ通り2番地にあるローマ教会に到着した。教区司祭であるインド・レオナルディ会のアントニー・サミー・エスロン神父の歓迎を受け、十字架が贈られ、接吻と崇敬を受けた。その後、菊地枢機卿がミサを司式した。

共同司式者には、前田万葉枢機卿、中村倫明大司教（長崎）とダヴィデ・カルボナロ大司教（ポテンツァ）ムロ・ルカーノ・マルシコ・ヌオーヴォ、中野裕明司教（鹿児島）とアンドレア・レンボ補佐司教（東京）そしてルイジ・ピッコロ神父（レオナルディノ修道会

を訪問、8日にサンピエトロ広場で教皇謁見、三つ目のバジリカ、聖ペトロ大聖堂内を観て、夕方、菊地功枢機卿が主催された夕食会に参加した。夕食会はレストランに日本からの三つの巡礼団（菊地枢機卿団長班、中村倫明大司教団長班）が集まった。9日にはかつての教皇座聖堂である四つ目のバジリカ、ラテラノ教会を訪問し、バチカン美術館に向かった。夕方は、巡礼の目的の一つでもある、菊地枢機卿のローマでの名義教会である聖ジョヴァンニ・レオナルディ教会で、他の二つの巡礼団と合流して着座式に参加した。

総長）が率いる司祭と、アンセルモ・リカルド・リベイロ神父（神言会総長）と数名の会員が出席した。また、日本の司祭と巡礼者に加え、千葉明駐ローマ日本大使、そして国際力タス事務局長アリスター・ダットン博士も出席した。

式典は、教皇式典長マッシミリアーノ・マッテオ・ボイアルディ神父が司式し、任命勅書を読み上げた。（文 八幡浜教会 清水裕子）



菊地枢機卿名義教会での着座式野外ミサ

帰国前に非公式行事として、前田枢機卿の名義教会である聖プデンツィアナ（Basilica Santa Pudenziana）において早朝ミサがさげられた。前田枢機卿は、この日の典礼にあたり、「十月や主の暗黒救いの日」、「聖年の十月十日プデンスヤ」の二句を詠み、巡礼の恵みと教会の歩みを感謝して結ばれた。



前田枢機卿の紋章が掲げられた聖堂前での巡礼団

ブラザーと歩こう＊巡礼ウォーク



巡礼指定教会の大東教会に訪問

聖年にあたり、大阪梅田教会を起点に、初めて企画された巡礼ウォーク。3月から、歌とロザリオの祈りを胸に歩いて巡る教会巡礼は、延べ8回にわたり続けられた。

皆さん、聖年をどのように過ごされましたか？ 大阪高松教区の巡礼指定教会は19を数えます。これは日本の教区の中でも多いのではないかと思います。わたしの所属する大阪梅田教会20km圏内に6つ（高槻、大東、玉造、堺、夙川、芦屋）もあります。そこでせっかくの機会ですから巡礼指定教会を歩いて「巡礼しましょう」と呼びかけました。3月11日、第1回の梅田〜大東をスタート、「希望の巡礼者」を歌い、ロザリオの祈りを唱えながら、12月2日第8回高槻〜大東まで9つの巡礼指定教会と途中にある15の教会を巡ることができました。参加者は平均10人、最高齢は80歳、距離は長いところで24kmを超えましたが、無事に歩くことができました。

聖年は終わりますが、今までさっと車で行っていた自分の教会に歩いて行ってみてはいかがでしょうか？ 長い距離を歩かなくても良いと思います。家を出た時から教会までの道、これも一つの巡礼です。是非歩いてみることをお勧めいたします。

（文 聖パウロ修道会 Br 阿部光一）

訃報



デンデリオ・カンブラ・アロニ神父（スペイン外国宣教会）は、11月19日、脳溢血により帰天。85歳。スペインナバラ州出身。



Sr 志鎌敏子（西宮聖クララ会）は、11月9日、仁豊野ヴィラで老衰のため帰天。105歳。東京都出身。



阪聖ヨゼフ宣教師修道士会は、11月13日、ガラシア病院で老衰のため帰天。99歳。東京都出身。

1966年に司祭叙階。日本に派遣が決まり、1970年に来日後、日本語（東京）を学び、大阪教区の（旧）桜ノ宮教会をはじめ各地で小教区司牧に献身した。高松教区の坂出、桜町、善通寺、丸亀など、多くの小教区で主任、助任司祭として務めた。特に献血活動に励み、地域から感謝状を受けるほどであった。1979年にパンプロローナ教区（スペイン）所属となり、同僚司祭からは「謙虚で喜んで奉仕する善良な人物」と評された。2022年に帰国後はパンプロローナ神学校の司祭館で穏やかに過ごした。

聖心女子大学英文科を卒業して英語教師をしたのち1948年4月西宮聖クララ会に入会。性格が朗らかで何事にも積極的であり、長らく修道院長を務め皆から霊母様と慕われてきました。2014年7月仁豊野ヴィラに入所して、これまで肺炎等により100歳の誕生日は無理だろうと言われていたものの100歳を迎え、その後も毎年肺炎を繰り返しては蘇り、今年はいよいよ105歳の誕生日を迎えることができました。お茶目な仕事で私たちを和ませてくださり、シスターは仁豊野ヴィラのアイドル的存在となり希望でした。

第2バチカン公会議後、教会の新しい動きの中で修道会の窓を社会に開き、試行錯誤を重ねながら刷新し後進の指導に携わった。ともに祈り、ともに働き、ともに学び、ともに憩い、ともに十字架のイエスを見つめながら主に招かれた奉獻生活を喜びのうちに過ごした。創立者の精神である、まことの神との出会いのよろこびを伝えることから、まだ神を知らない方々に、晩年でも入門講座をして洗礼に導くことを喜びとした。

Sr マリアアナタリヤ関口綾子（大

来見なさい



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教区委員会主催

福者ユスト高山右近殉教者
◆列聖祈願のつどい

【第一部】講演 デルカ・レンゾ神父(日本二十六聖人記念館館長・イエズス会)「右近の信仰、生き方が現代の私たちに伝えるメッセージ」

【第二部】列聖祈願ミサ
日時 2/7(土)13:30～16:30
場所 サクラ ファミリア
共催 列聖推進委員会・右近と歩む会
問 ☎06-6941-9700

諸宗教対話活動 2025年度◆第3回訪問「神社を訪問し神職に出会い、神道について学ぶ」

日時 1/17(土)14:00～16:00
場所 大阪天満宮(大阪市北区天神橋2-1-8)
おはなし 寺井種治宮司
主催・問 諸宗教対話委員会
☎06-6941-9700
✉ird-ecm@ostk.catholic.jp

2026年キリスト教一致祈禱週間
共同礼拝◆「一つの体、一つの霊、一つの希望(エフェソ4・4)」
【和歌山会場】
日時 1/18(日)15:30～16:45
場所 カトリック和歌山紀北教会屋形町聖堂

【神戸会場】
日時 1/23(金)18:30～19:45

場所 カトリック神戸中央教会

【大阪会場】
日時 1/25(日)18:30～19:45
場所 大阪高松カテドラル聖マリア大聖堂

主催・問 エキュメニズム委員会
☎06-6941-9700
✉ird-ecm@ostk.catholic.jp

サクラ ファミリア主催

聞かせてください 神さまと出会った時のこと～エマオへの道で【特別編】◆おはなし 西 経一神父(神言会)
日時 2/21(土)14:00～15:30

コレーン神父の聖書講座◆「主のみ言葉に生かされる」
日時 1/19・2/9・3/9(月)13:30～15:00(全3回)

和田幹男神父◆聖書研究講座「新約聖書概論」
日時 1/21・2/18(水)10:30～12:00

和田幹男神父◆新約聖書ギリシア語(初級)
日時 1/12・1/26・2/2・2/9(月)17:00～18:30

祈りのよる◆灯りをかこみ、ともに祈る静かな時間を
日時 毎月17日19:00～19:30

問 サクラ ファミリア
☎06-6225-8871
✉f.sacra@ostk.catholic.jp

結婚準備講座

夙川教会
日時 2/7(土)～2/28(土)16:00～17:30
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会
日時 2/1(日)～2/22(日)14:00～16:00(4回)
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎078-851-2846
✉renraku@rokko-catholic.jp
※事前要問合せ(年2回)

黙想会

宝塚黙想の家
◆日帰り黙想会
日時 1/22(木)・1/23(金)10:00～15:30
指導 染野治雄神父(1/22) 山内十束神父(1/23)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会
日時 1/16(金)17:00～1/17(土)15:30
指導 染野治雄神父
参加費 ¥9,000

◆新約聖書の世界への旅
日時 第1(月)19:00～
指導 山内十束神父

◆祈りを深めるための聖書の基本
日時 第1・3(水)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆カトリック教会のカテキズム
日時 第1・3(水)10:00～12:00
指導 染野治雄神父
参加費 ¥1,000

◆柱の黙想
日時 第2(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

◆教会の教えと歴史
日時 第4(木)10:00～12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講座・研修会

高橋聡神父◆カテキズム黙想会
テーマ 社会教説の原則
日時 1/22(木)14:00～16:00
場所 サクラ ファミリア
主催・問 高橋聡神父
☎090-6329-5709

講座◆小さくされた人々のための福音
日時 第3(金)10:00
場所 神戸学生青年センター
参加費 ¥1,000
主催 神戸国際支縁機構
問 岩村 ☎070-5045-7127

集い

大阪JOC◆働き方や生き方について現状から共に考える15～35歳までの若者の集い
日時 第2(土)14:00～16:00
場所 大阪YCWセンター(またはZoom)
問 レネ神父・水元
☎072-232-8063
✉osakaycw@gmail.com
HPhttp://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エフファタ!”練習会◆教区ミサに要約筆記(文字表示)をつけるボランティア
日時 第2(日)19:00～21:00
場所 オンライン・パソコン使用
問 障がい者委員会

✉dis@ostk.catholic.jp

精神・発達症(障害)者自助グループ◆オリーブの集い
守秘義務と分かち合い
いつ来てもウェルカム
当日キャンセルOK
日時 第3(日)14:00～16:00
場所 姫里集会所
参加費 無料(12月のクリスマス会だけ実費)
申込 吉川まで
問 ☎☎078-583-2525
✉yassan.yoshikawa@nifty.com

点訳ネット「レジナ」◆勉強会
対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情報共有に関心のある方
日時・場所 奇数月 第2(火)13:30～15:00 姫里集会所
偶数月 第2(水)13:30～15:30 北須磨教会
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324 ☎072-722-0271
✉kasamatsu-yukisan@iris.eonet.ne.jp

聴覚障がい者ボランティア会◆聖書の手話表現の学び・教区活動の手話通訳者派遣
対象 手話に興味をお持ちの方 ※手話講習会ではありません
日時 第1・3・5(水)10:00～14:00
場所 姫里集会所
問 障がい者委員会
✉dis@ostk.catholic.jp

マザー・テレサ共労者の集い◆大阪梅田教会
日時 第1(土)14:00
1月はお休み
問 高塚 ☎06-6921-0693
◆加古川教会
日時 第3(火)13:00～14:30
問 森田 ☎079-426-5704

1月司教予定

「行事等日程」以外

- ・1/6 聖年開幕ミサ・枢機卿総会ローマ(†M)
- ・1/6～8 シナピス行動計画会議(†S)
- ・1/19～20 全国広報担当者会議(†S)
- ・1/26～30 教区司祭修養会(†M・S)
†M＝前田万葉枢機卿
†S＝酒井俊弘補佐司教

行 事 等 日 程			
2026年 1 月		26 月	修養会(～30日迄)
1 木	神の母聖マリア 世界平和の日	28 水	聖トマス・アクィナス 司祭教会博士 トマス・アクィナス 前田万葉大司教霊名
4 日	主の公現		
6 火	(教区本部事務局2026年始業)		
11 日	主の洗礼	2 月	
14 水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会	2 月	主の奉獻
		3 火	福者ユスト高山右近殉教者
15 木	〔常任司教委員会〕	4 水	10時半 顧問会・責任役員会
17 土	教区新生の日〈1・17〉 11時 教区宣教司牧評議会	5 木	日本26聖人殉教者 〔常任司教委員会〕
18 日	キリスト教一致祈禱週間(～25日迄)	7 土	福者ユスト高山右近殉教者 列聖祈願のつどい
25 日	神のことばの主日 世界こども助け合いの日(献金)	8 日	新教会建設献金の日(献金)

謹賀新年。今年も教区報の愛読、お願いします。▲聖年が幕を閉じました。私の担当する教会も巡礼指定教会でしたので、個人・グループ・団体、たくさんの方が訪問してくださいました。▲ある日、一本の電話が。彼は信者でしたが、もう長い間教会に行っていたことがなかったのです。インターネットで聖年の巡礼を知り、訪問してみようと思っただけです。▲約束の日、彼は教会に現れました。長い時間席で祈り、ゆるしの秘跡を受け、私と少し話してから帰ろうと席を立ちました。その彼を入り口から差し込む初夏の日差しが包み込みました。振り返った彼の顔は清々しく、何か吹っ切れた感じがしました。彼は「希望の巡礼者」でした。(広報委員長 川邨裕明)

はばたき

第4回カトリック小学校フェア開催



日時：2/23(月・祝) 10:30～14:00
場所：サクラ ファミリア
要申込：2026/2/6(金)まで

＜参加小学校＞

アサンプション国際
大阪信愛学院
賢明学院
香里スヴェール学院
城星学園
仁川学院

この機会にぜひ、カトリック学校のことを知っていただきたく、どなたさまもお誘い合わせてご参加ください！



- *カトリック小学校児童による聖歌 ♪
- *未就学児対象の聖書の題材を使った楽しいゲームやクラフト(ジグソーパズル・ロザリオ・プラバンなど)
- *各校ブースでの個別相談もいたします！

2026年度
大阪高松教区
年間予定

— 2025年11月30日現在 —

緑……典礼歴(祝祭日)
赤……祈願日など
黒……教区行事・その他

※予定は変更になる場合があります。

1 月		
1	木	神の母聖マリア 世界平和の日
4	日	主の公現
6	火	(教区本部事務局 2026年始業)
11	日	主の洗礼
14	水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
15	木	〔常任司教委員会〕
17	土	教区新生の日〈1・17〉 11時 教区宣教司牧評議会
18	日	キリスト教一致祈禱週間(～25日迄)
25	日	神のことばの主日 世界こども助け合いの日(献金)
26	月	修養会(～30日迄)
28	水	聖トマス・アキナス司祭教会博士 トマス・アキナス 前田万葉大司教霊名

2 月		
2	月	主の奉献
3	火	福者ユスト高山右近殉教者
4	水	10時半 顧問会・責任役員会
5	木	日本26聖人殉教者 〔常任司教委員会〕
7	土	ユスト高山右近 列聖を祈る集い
8	日	新教会建設献金の日(献金)
11	水	世界病者の日
16	月	〔臨時司教総会〕(～20日迄)
18	水	灰の水曜日(大斎・小斎) 四旬節愛の献金(四旬節中)
25	水	10時半 司牧者のための祈りと ゆるしの秘跡のつどい

3 月		
5	木	〔常任司教委員会〕
6	金	性虐待被害者のための祈りと償いの日
19	木	聖ヨセフ
20	金	教区召命の日
21	土	大阪高松教区司教座聖堂献堂(玉造)
25	水	神のお告げ 10時半 顧問会・責任役員会(予算)
29	日	受難の主日(枝の主日)
31	火	教区会計年度末



4 月		
1	水	11時 聖香油ミサ 司祭経年祝 (カテドラル)
2	木	聖木曜日(主の晩さん)
3	金	聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金
4	土	聖土曜日
5	日	復活の主日
9	木	〔常任司教委員会〕
12	日	神のいつくしみの主日
22	水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
26	日	世界召命祈願の日

5 月		
10	日	世界広報の日(献金)
14	木	〔常任司教委員会〕
17	日	主の昇天
20	水	10時半 甲山墓参
24	日	聖霊降臨の主日
25	月	教会の母聖マリア
27	水	10時半 顧問会・責任役員会 (決算)
31	日	三位一体の主日

6 月		
4	木	〔常任司教委員会〕
7	日	キリストの聖体
8	月	教区司牧者研修会(～9日迄)
12	金	イエスのみ心
15	月	〔定例司教総会〕(～19日迄)
24	水	洗礼者聖ヨハネの誕生
27	土	11時 教区宣教司牧評議会
28	日	聖ペトロ使徒座への献金
29	月	聖ペトロ 聖パウロ使徒 パウロ酒井俊弘補佐司教霊名

7 月		
1	水	福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 平和月間(～8/31日迄)
2	木	〔常任司教委員会〕
8	水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
22	水	10時半 司牧者集会

8 月		
2	日	カンボジア教会の日の献金
6	木	主の変容 平和旬間(～15日迄)
10	月	青年と子どもの錬成会 (予定～12日迄)
12	水	教区教員養成会(～13日迄)
15	土	聖母マリアの被昇天 共同司教座聖堂献堂(桜町) (教区本部事務局 休業)



9 月		
1	火	すべてのいのちを守るための月間 すべてのいのちを守るための基金 (献金)(～10/4迄)
3	木	〔常任司教委員会〕
6	日	被造物を大切にする世界祈願日
9	水	10時半 顧問会・責任役員会
14	月	十字架称賛
16	水	教区健康の日
20	日	祖父母と高齢者のための世界祈願日
23	水	14時 病者・障がい者とともに 歩むミサ(カテドラル)
27	日	世界難民移住移動者の日(献金)
30	水	〔臨時司教総会〕(～10/1迄)

10 月		
1	木	常任司教総会 〔常任司教委員会〕
7	水	ロザリオの聖母 大阪高松教区 守護聖人 10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
18	日	世界宣教の日(献金) INTERNATIONAL DAY
25	日	教区典礼研修会
28	水	10時半 司牧者集会

11 月		
1	日	諸聖人
2	月	死者の日
3	火	11時 教区納骨者および死者 祈念ミサ(カテドラル)
5	木	〔常任司教委員会〕
7	土	管区司教と青年の集い(～8日迄)
9	月	ラテラノ教会の献堂
10	火	聖レオ1世教皇教会博士 レオ池長潤名誉大司教霊名
11	水	10時半 顧問会・責任役員会
15	日	貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～22日迄)
16	月	日韓司教交流会(～19日迄)
22	日	王であるキリスト 世界青年の日
25	水	11時 桜町墓参

12 月		
3	木	〔常任司教委員会〕
6	日	宣教地召命促進の日(献金)
8	火	無原罪の聖マリア
9	水	10時半 顧問会・責任役員会
25	金	主の降誕 (教区本部事務局 休業)
27	日	聖家族 使徒ヨハネ諏訪榮治郎名誉司教霊名
28	月	11時 みことばの祭儀 (教区本部事務局年末年始休業 2026.12/28～2027.1/5)

2027年 1 月		
1	金	神の母聖マリア 世界平和の日
3	日	主の公現
6	水	(教区本部事務局2027年始業)
10	日	主の洗礼
13	水	10時半 顧問会・責任役員会 13時半 司祭評議会
14	木	〔常任司教委員会〕
17	日	教区新生の日〈1・17〉
18	月	キリスト教一致祈禱週間 (～25日迄)
23	土	11時 教区宣教司牧評議会
24	日	神のことばの主日
25	月	修養会(～30日迄)
28	木	聖トマス・アキナス司祭教会博士 トマス・アキナス前田万葉大司教霊名
31	日	世界こども助け合いの日(献金)

2 月		
2	火	主の奉献
3	水	福者ユスト高山右近殉教者
4	木	〔常任司教委員会〕
5	金	日本26聖人殉教者
6	土	ユスト高山右近 列聖を祈る集い
10	水	灰の水曜日 四旬節愛の献金(四旬節中) 10時半 顧問会・責任役員会
11	木	世界病者の日
14	日	新教会建設献金の日(献金)
15	月	〔臨時司教総会(～19日迄)〕
24	水	10時半 司牧者のための祈りと ゆるしの秘跡のつどい
26	金	性虐待被害者のための祈りと償いの日

3 月		
4	木	〔常任司教委員会〕
19	金	聖ヨセフ
21	日	受難の主日 大阪高松教区司教座聖堂献堂(玉造)
22	月	教区召命の日
24	水	11時 聖香油ミサ 司祭経年祝 (カテドラル) 14時 顧問会・責任役員会(予算)
25	木	聖木曜日(主の晩さん)
26	金	聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金
27	土	聖土曜日
28	日	復活の主日
31	水	教区会計年度末